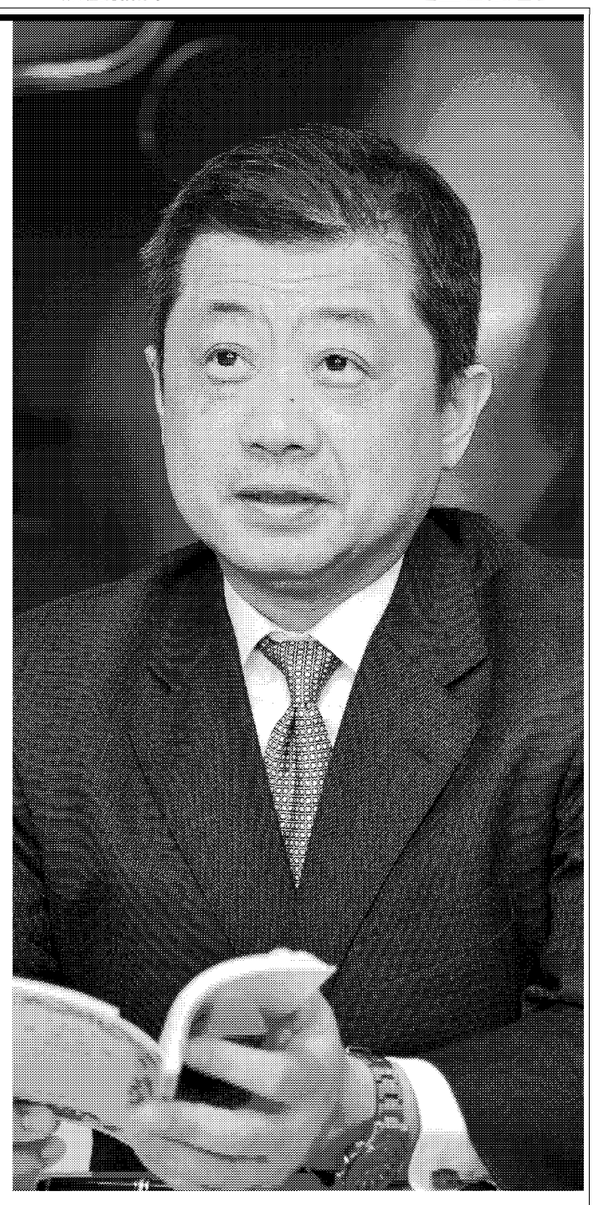
広告特集 企画・制作 朝日新聞社広告局

LEADERS AS READER
リーダーたちの本棚 VOL. 27

READING

経験の価値を見つけホッ



読書量のピークはアメリカの大学院で学んでいた時。教科1期分の〝必読書〟だけでも積み重ねると自分の背の高さを超えました。ビジネス書も読みあさりましたが今はめったに読みません。基本は学びきったという思いがあるので、新聞があれば十分です（笑い）。

最初に紹介するのは、キケローの『老年について』です。老賢者の大カトーと2人の若者との対話形式になっていて、「大抵の老人にとって老年はいとわしい」と言う若者に、大カトーは、「老年は思慮や見識で大事業をなしとげられる」「悪徳の最たる快楽を欲しいとも思わないことこそ快い」などと説きます。キケローは紀元前の人物ですが、室町時代の世阿弥が『風姿花伝』に記した「老いても花は残るべし」という思想との類似を感じます。17世紀のデカルト登場以降、数学的な割り切りで効率優先になり、老人や幼年は隅に置かれるようになりました。しかし、今は老人も等しく参加する社会に徐々に戻ろうとしています。老人の経験の価値を説くキケローの考え方にホッとします。若い方にもお薦めの1冊です。

『カラマーゾフの兄弟』は、大学時代に1度読んでいましたが、亀山郁夫さんの新訳本が出版された時に改めて読みました。テンポがよく本当に面白かったです。父親に対する息子の葛藤というテーマは男として共感できますし、無神論者の次男イワンが信仰心厚い三男アリョーシャにキリストにまつわる自作劇を語って聞かせる有名な「大審問官」の章も圧巻でした。「人間は自由を差し出し、パンをくれる相手にひざまずく。自由は魅惑的だがこれほど苦しいものもない」という内容は、人の歴史の真理をついていると思います。

歴史に育まれた思想を読み思考を深めて目を養う

江戸中期は文化の宝庫 知識人たちの感性を味わう

『西洋紀聞』は、鎖国下の江戸中期、日本に潜入し、捕らえられたイタリア人宣教師のシドッチを尋問した新井白石の記録です。ローマ法王庁による日本でのキリスト布教の失敗を憂えるシドッチは、キリスト教への理解を白石に求めます。白石はシドッチの学識と人間性に感銘を受けつつ、「神と人との1対1の契約」というキリスト教義は、家族や商店や藩などの支え合いで成り立っている日本の社会体系になじまないとの結論に至ります。

この認識は今の時代にも大いに通じ、ビジネスの場面で西洋と日本の文化の違いを考える時によく思い出します。東西を代表する知識人の高潔なやり取りや、シドッチが言葉や価値観を超えて警護の人とも心を通わせていく様子はとても感動的です。

次に、白石の時代からやや下りますが、同時代に生きた大田南畝の狂歌、漢詩、随筆などを収めた『大田南畝全集』を紹介します。南畝は、儒学、詩、画、工芸などあらゆる文化が爛熟した天明期を代表する文人で、どの作品もエンターテインメントとして楽しめます。

例えば『調布日記』という散策記は、風景の表現に中国の詩の一文が絶妙に織り交ぜられ、詩の意味がわかると実にしみじみと共感できます。私が同書を手に取ったきっかけは、趣味の煎茶でした。仲間と催す「煎茶会」では、南畝をはじめ江戸の文化人の美意識や作品に込めた思いについて、心ゆくまで語り合います。煎茶を通じて南畝が好きになり、南畝を知るほど周辺の江戸文化に興味がわき、あれこれ知識を深めることで煎茶の世界がより広がる。そんな楽しみ方をしています。

身をもって体験した仏教の深遠な教え

最後は、ベトナム生まれの禅僧ティク・ナット・ハンの新刊『法華経の省察』です。私は以前ティク・ナット・ハンが来日した際、法話を聞いたり瞑想したりして過ごす「リトリート」に参加しました。歩きながらの瞑想を彼と行った時、沿道の草木の緑が光り輝いて見えるという不思議な体験をしました。本書は、宇宙にあるすべてのものは相互に関係しているという「インタービーイング＝相互依存」の教えなどをわかりやすく伝えています。波を例えに、「人は、有と無、生と死、始まりと終わりを免れることのできない波としての人生を生き、同時にそれらと無縁な水としての人生も生きている。時間と空間という歴史的次元（波）だけでなく、本源的次元（水）を認識することで、恐れはなくなる」といった仏教の洞察も心に残りました。

経営者には、独自の歴史観や大局観が必要だと思います。社会や経済の行方を見通し、歴史と照らし合わせてどんな段階に至るのかを判断できなければ、足元で起こっていることへの適切な対処もできません。私は、先達たちの深い洞察を知ることが、歴史観や大局観を養う何よりの方法だと考えています。

LIXIL 代表取締役会長

潮田洋一郎さん

うしおだ・よういちろう

「子供の頃から本が好きで、高校、大学時代はデカルト、パスカル、モンテーニュなど思想家たちの本をさかんに読みました。万物を疑い抜いて真理を探る、逆説的に物事をとらえる、といったことが若い気分に合っていたのでしょう」。住宅設備最大手の住生活グループが傘下のトステムやINAX（リクシル）など5社を統合し、この4月からLIXILとして始動した。「本を読み思考を深めることで経営観が磨かれる」という潮田さんが選んだのは、古今東西、思想の巨人たちからのメッセージが詰まった5冊だ。

LEADING

住宅市場の産業構造の変化に対応

LIXILのスタートを飾った企業広告のキャッチフレーズは、「リクシルって知ッテル？」。誕生したばかりの会社なので多くの人がその名を知らない。だからこそ多くの人に、「リクシルって何？」と興味を抱かせた。

LIXILは持株会社住生活グループの中核となる事業会社。住生活グループの前身は、潮田さんの父・健次郎氏が創業したトーヨーサッシだ。戦後、建具の卸業から高度経済成長に乗ってアルミサッシのトップブランドへ。M&Aを重ねて事業を拡大し、社名をトステムに変更。INAXと経営統合して住生活グループを立ち上げ、新日軽、サンウエーブ工業（製造部門を除く）、東洋エクステリアを傘下に収めた。そして、この4月に五つの事業会社が合併して新会社設立に至った。

「住宅に関係するさまざまな商品が一堂に会することになりました。ただ、より多くのシェアを独占するのが合併の目的ではありません。お客さまのニーズに合うなら、他社製品を提案してもいい。『LIXIL＝自分好みの心地よい暮らしが見つかる』と評価していただけるような会社を目指します」

大胆な発言の裏には、産業構造の変化をにらんだ独自の戦略がある。

最適な品を提供するサービスブランドへ

住宅の建て替えサイクルの長期化や少子高齢化によって減少する新築需要。それは住宅設備業界にもおのずと響いてくる問題だが、これまでのようにメーカー間で過当競争を続けていたのでは共倒れになると潮田氏は考える。

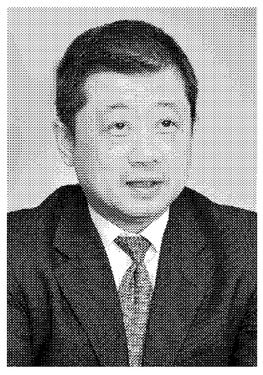
「LIXILは、お客さまに最も適した商材を提供するサービスブランドです。新築需要に代わって拡大するリフォーム需要に対応するため、建材や住設機器のあらゆる商品を扱います。断熱、節電、発電など環境性能を備えた住まいの総合的なソリューション提案をしていきます。無駄なコストを省き、利益につながる付加価値を追求できる態勢を整えることで、産業構造の変化に対応していきます」

人事面では、金融、太陽電池、電気機器などさまざまな分野の人材を外部から登用。中国家電最大手のハイアールと提携するなど新興国市場にも目を向け、ヒット商品の創出をねらう。

「異なる企業文化をまとめるには、自己否定に近いことも含めて大事な決断を重ねなければなりません。成長する竹に節目が刻まれるように、会社にも節目があり、今がまさにその時です」

新分野に柔軟に対応できる人材を適所に配し、節目を乗り越える意欲だ。

「経営ポリシーは、人のまねをしない。父のモットーでしたが、このことに関してはまねをしています。光るアイデアにワクワクできるマインド、アイデアを適宜くみ上げる技量も大切だと思います。ユニークなソリューションを次々と繰り出していきたいですね」

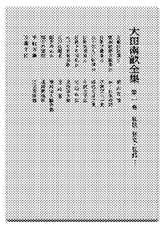


1953年東京都生まれ。77年東京大学経済学部卒。同年トーヨーサッシ（現・住生活グループ）入社。79年シカゴ大学大学院経営学修士修得。80年取締役営業企画部長、84年常務取締役商品本部長、86年専務取締役広報・人事・業務改善・TQC・製造管掌、90年代表取締役副社長海外事業・デザイン総括管掌。91年ビバホーム代表取締役社長。92年トステム（同年トーヨーサッシより社名変更）代表取締役副社長、2001年INAXトステム・ホールディングス（現・住生活グループ）取締役副社長、03年取締役、06年同社代表取締役会長兼CEO兼トステム（11年4月LIXILに社名変更）代表取締役会長。

■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、潮田洋一郎さんが語るリーダー論を紹介しています。http://adv.asahi.com 朝日新聞 広告 検索

潮田洋一郎さんがすすめる5冊

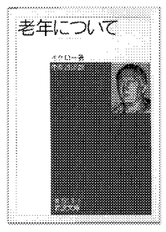
『法華経の省察』（春秋社）
ティク・ナット・ハン・著　藤田一照・訳
ベトナム戦争の際に中立の立場から平和と停戦を訴え、北からも南からも敵視されてフランスに亡命した著者が、大乗仏教の理想、社会とかかわり行動する菩薩（ぼさつ）の生き方、「今この瞬間への気づき」がもたらす幸福などを説く。



『大田南畝全集』全20巻・別巻1（岩波書店）
大田南畝・著　濱田義一郎　中野三敏　日野龍夫　揖斐高・編集
多彩な文業で知られ、天明期の庶民を熱狂させた大田南畝の狂歌、狂文、狂詩、漢詩文、戯作、日記、紀行、随筆などを収録。「好きなのは漢詩文や日記。美的感覚あふれる秀作が多く、江戸中期の文化レベルの高さがうかがえます」

『西洋紀聞』（岩波文庫）
新井白石・著　村岡典嗣・校訂
江戸中期の旗本で学者の新井白石がイタリア人宣教師シドッチを審問した記録。シドッチが月代（さかやき）をそり日本人になりすまして密航した様子や、キリスト教や諸外国の事情に対する白石の鋭い洞察、シドッチの知性と人間性などが描かれる。

『カラマーゾフの兄弟』全5巻
（光文社古典新訳文庫）
ドストエフスキー・著　亀山郁夫・訳
好色な父親、直情型の長男、合理主義者の次男、純朴な三男、こ惑的な女性たちを軸に展開される愛憎劇。父親殺害後は推理劇、裁判劇の様相を呈する。信仰、自由など多くの思想的テーマを含む大作。



『老年について』（岩波文庫）
キケロー・著　中務哲郎・訳
老賢者大カトーが文武に秀でた2人の若者を屋敷に迎え、自ら到達した境地から老いと死について語る対話編。公の活動、肉体、快楽、死というテーマで老年を検証し、老年の思慮、教養、無欲を肯定。老いの輝きを伝えるローマ古典。

三笠書房 千代田区飯田橋3-3-1 http://www.mikasashobo.co.jp
◎ブックサービス（株）〈フリーダイヤル〉0120-29-9625（9:00～18:00）からもご購入いただけます。
◎書籍の詳しい内容は弊社HPをご覧ください。◎価格はすべて税込み。

文庫ベストセラー&最新刊!!

川北義則
ISBN978-4-8379-2379-4
●1260円
「20代」でやっておきたいこと
人生を決定づける「20代」！
新入社員から30代まで、とても勉強になる本!!
33刷 27万部!! 続々重版中
iPhone、iPad、Android、GALAPAGOS、ソニーリーダー等
電子書籍版、絶賛発売中!

ISBN978-4-8379-5726-3
●1365円
それでも僕の人生は「希望」でいっぱい
最新刊!
ニック・ブイチチ　渡邉美樹［監訳］
YouTubeで全世界が注目! 生きる「活力」がわいてくる!

王様文庫
植西聰
ISBN978-4-8379-6580-0●580円
「いいこと」がいっぱい起こる! ブッダの言葉
どんな怒りも迷いもカラッと晴れた!
世代を超えて読者急増中!!
28万部突破!

知的生きかた文庫
40万部
新潟大学大学院医学部教授 安保徹
疲れない体をつくる免疫力
今ある「疲れ・ストレス」を撃退する習慣
ISBN978-4-8379-7883-1●600円

最新 2012年版 図解 業界地図が一目でわかる本
インタービジョン21［著］
電子書籍版 配信中!
Android、GALAPAGOS、ソニーリーダー等
ベストセラー待望の最新版 最新数字を徹底網羅!
ISBN978-4-8379-7951-7●630円

王様文庫
発売7週間で30万部突破!
この爽快感は、やみつきになります!
◎サッパリとガラクタを「捨てる」◎キッパリとモノを「断つ」◎スッパリと執着から「離れる」
断捨離で、家そのものが「パワースポット」に!
文庫初 書き下ろし!!
不思議なくらい/心がスーツとする
断捨離
クラター・コンサルタント やましたひでこ
ISBN978-4-8379-6599-2●500円
全国書店で売れ行き激増中!
TBS「王様のブランチ」NHK「クローズアップ現代」「テレビ東京「ソロモン流」など、主要メディアで大反響!!
365日が、変わる!
うれしい「効果」をあなたにも!!
●余計なモノを捨てる発想は、仕事でも大切。段取りが断然違います。（27歳、男性）
●パンパンだった財布から、不要なレシートやポイントカードを一掃! お金への感覚が磨かれて、衝動買いしなくなりました。（23歳、女性）
●断捨離は、人間関係にも効果があると聞いてチャレンジ。すぐに思いがけない"出逢い"があり、驚いてます。（34歳、女性）
●どんな「片づけ本」より、わかりやすくて奥が深かった。すぐに試したくなり、洋服を思いきって捨てました!（19歳、女性）
週間文庫ランキング 続々上位進出!!
旭屋書店　紀伊國屋書店　くまざわ書店　啓文堂書店　三省堂書店　TSUTAYA BOOKS　ブックファースト　丸善書店　未来屋書店　有隣堂　リブロ

知的生きかた文庫 スマイルズの世界的名著シリーズ（東大名誉教授 竹内 均 訳） 累計43万部!!
向上心（すじ金入りの自分論）ISBN978-4-8379-7949-4●600円
自助論（人生は自分の手でしか開けない!）ISBN978-4-8379-7239-6●560円